

アイロミールエアゾール 100 μ g

【この薬は？】

販売名	アイロミールエアゾール 100 μ g AIROMIR
一般名	サルブタモール硫酸塩 Salbutamol Sulfate
含有量	1噴霧中サルブタモールとして 100 μ g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

下記疾患の気道閉塞障害に基づく諸症状の緩解

気管支喘息、小児喘息、肺気腫、急・慢性気管支炎、肺結核

- ・喘息の方は発作がおこったときに使用します。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアイロミールに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・心臓に障害のある人

- ・糖尿病のある人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は、吸入薬です。飲み薬ではありません。

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・使用方法に関して医師から別途指示があった場合は、医師の指示どおりに吸入してください。
- ・この薬は、通常、成人では1回2吸入（200 μ g）、小児では1回1吸入（100 μ g）します。1日の最高使用量は、成人8吸入、小児4吸入まで、使用回数は1日4回までです。
- ・この薬は、通常、3時間以上効果が持続しますので、次の吸入までは3時間の間隔をあけてください。
- ・喘息の方は発作がおこったときに使用します。

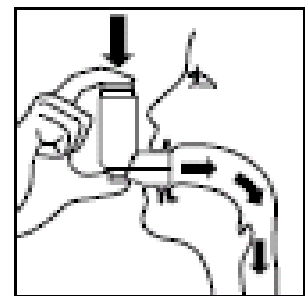
●どのように使用するか？

直接吸入する方法と、吸入用補助器（スパーサー）を用いる方法とがあります。吸入する前に、必ずよくアルミ容器（ボンベ）を振ってから吸入してください。

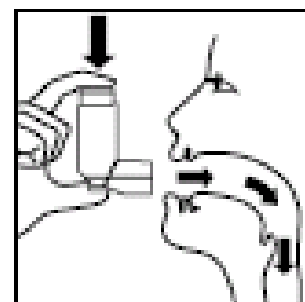
●直接方法

※専用のアダプターが正しく装着された状態で吸入してください。

1. アダプターの吸入口についているキャップをはずし、アルミ容器の底が上になるように持ち、よく振ります。
2. 初回使用時のみ4回の予備噴霧を行ってください（顔に向けて噴霧しないこと）。
3. 十分に息を吐き出したのち、舌を下げ、のどを広げた状態にして、吸入口を唇または歯で軽くくわえます。そして、口から息を大きく吸いこみはじめると同時に、アルミ容器の底を1回強く押します（図1）。
なお、吸入口をくわえないで、口を開けたまま口から約4cm離れた状態で吸入する方法もあります（図2）。
4. そのまま息を吸い続けたのち、数秒間息をとめ、ついで吸入口を口からはずし、ゆっくりと息をはき出します。これで1吸入が終わります。
5. 吸入が2吸入の場合は、最初の吸入終了後1分ほど間をおいて、次の吸入を行ってください。
6. 吸入終了後はうがいをしてください。
7. 使用後はキャップをつけてください。



(図1)



(図2)

- ・吸入用補助器具（スプレー）を使用する場合は、吸入用補助器具に封入されている使用説明書に従い、適切に使用してください。
- ・お子さんが使用する場合は、保護者の方が使用法を正しく指導し、保護者の監視下で使用してください。
- ・吸入方法は携帯袋にも書かれていますので、よく読んで使用してください。不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。

●この薬を吸入できる回数？

容器 1 缶で約 200 回噴霧できます。

●効果が不十分な場合の対応

喘息の方において、発作が重篤でこの薬の効果が不十分な場合は、できるだけ早く受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

血清カリウム値の低下などにより、頻脈、動悸（どうき）などの症状があらわれることがあります。

このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し、医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。

【この薬を使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・過度の使用により重篤な副作用があらわれることもあるので、患者さんまたは保護者の方は正しい使用方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合は、家族の方も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下などにより、頻脈、動悸（どうき）などの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに医師または薬剤師に連絡してください。場合により心停止にいたることもあります。
特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1 回の吸入数、1 日の吸入回数などに十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、できるだけ早く医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬が不十分な場合は、ただちに医療機関を受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなけっせいカリウムちのていか	脱力感、筋力の低下、手足のまひ、口渇、息苦しい、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下 など

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部 位	主な自覚症状
全身	脱力感
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない
口やのど	口渇
胸部	息苦しい
手・足	手足のまひ
筋肉	筋力の低下
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

アルミ缶入りエアゾール吸入剤
専用アダプター：本体・・・明るい青色
キャップ・・・灰色



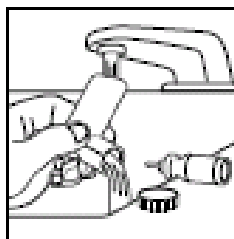
【この薬に含まれているのは？】

有効成分	サルブタモール硫酸塩 (サルブタモールとして一缶中に 28.5mg、一噴霧中に 100 μg) 一缶 200 噴霧回数分
添加物	オレイン酸、無水エタノール、1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・アダプターは、少なくとも週1回流水か温湯でよく洗い（図A）、余分な水分を振り払った後、一晚空気乾燥してください（図B）。アルミ容器は水に漬けないでください。アダプターの洗いと洗浄が足りないと噴霧不良の原因になります。



（図A）



（図B）

- ・洗浄直後に使用する場合は余分な水滴を振り払い、アルミ容器を装着し、空気中に2回試し噴霧してから使用してください。使用後もう一度洗浄・乾燥してください。
- ・薬の入っているアルミ容器（ボンベ）は絶対に濡らさないでください（噴射口が詰まる原因になります）。
- ・室温で保存してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

- ・使用後、火中に投入しないでください。
- ・ボンベに穴を開けるときは、必ず中の薬を空にしてから開けてください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社 (<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

TEL：0120-885-736

受付時間：9時～18時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）